

年度 2007 学期 前期	曜日・校時	水1 / 水2 / 水3	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)		韓国語 KOREAN				
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)		全学部(時間割参照)		科目分類	外国語科目(韓国語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 劉卿美(ゆう・きょんみ) / Eメールアドレス: you-kiss@net.nagasaki-u.ac.jp/ 研究室: 全学教育事務室 2 階 / オフィスアワー: 月～木、昼休み 水 14:30～18:00						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標 授業のねらい: 韓国語は日本語と語順が同じである上に、漢字からなる単語の多くが共通しているため、日本人にとってたいへん習いやすい言語です。 や○にしか見えないハングル文字も、そのしくみが分かれば意外と簡単なもの、ゆっくりながらも、しかし確実に、ハングル文字を読み書くことができるようにマスターしましょう。そして、 韓国語文の基本しくみ 語幹+ 表現形 +語尾 を身につけ、簡単な文を作り、言うことができるようにしましょう。 授業方法: 授業の前に指定したテキストのページを予め読み、授業に臨んでください。毎回の授業では授業目標 ～ を達成するために、必要不可欠な文法事項を覚えていきます。授業では毎回課題が出されます。授業で習った文法事項を確実に身につけるために、出された課題をもって復習を行ってください。授業中はできるだけ多く、口頭による発音練習を行います。テキストに付いている CD を通してさらに発音練習を行ってください。 授業到達目標: ハングルが読み書くことができるようにしましょう。 一日の動作を説明でき、相手にも質問できるようにしましょう。 自己紹介ができるようにしましょう。 したいこと、やりたいことを言え、訊けるようにしましょう。 お店に行き、買い物ができるようにしましょう。						
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 毎回の授業ではまず、その日覚えるべき文法事項の説明をします。テキストで形と使い方を確認。プリントを配布し、練習をします。ワン・フレーズハングル(ビデオ)。最後に課題の確認と回収を行います。毎回の授業内容については、個人 HP にもアップしていきます。(長崎大学→大学教育機能開発センター→総合案内→スタッフ紹介→劉卿美→個人HP)						
第1回(4/11) ハングル文字の歴史としくみ (6～9 頁) 目標 第2回(4/18) 母音(10～13 頁) 第3回(4/25) 子音(14～17 頁) 第4回(5/2) 複合母音(18～21 頁) 第5回(5/9) パンナム(22～25 頁) 韓国事情 第6回(5/16) します 動詞 ていねいな語尾(74 頁) 目標 第7回(5/23) いいです 形容詞 第8回(5/30) しない です 動詞 よく ない です 形容詞 否定(110 頁) 第9回(6/6) 学生であります ます = 学生です 名詞 (38 頁) 目標 第10回(6/13) 学生ではない です = 学生ではありません 名詞 (50 頁) 第11回(6/20) したい です 願望(142 頁) 目標 第12回(6/27) しています 動作の進行(130 頁) 韓国事情 第13回(7/4) いち、に...きゅう、じゅう 数の言い方(88 頁) 目標 第14回(7/11) ひとつ、ふたつ...とお 数の言い方(100 頁) 第15回(8/1) 定期試験						
キーワード						
教科書・教材・参考書		『基礎から学ぶ韓国語講座・初級編』(木内明・国書刊行会) * テキストや授業中に配るプリントは韓国語 と を通して使うので、毎回持参してください。またプリントは紛失したり混ざったりしないよう、つねに整理することを心がけましょう。				
成績評価の方法・基準等		課題提出 20 % (各課題につき 4 段階評価を行います。遅れて提出された分は減点されます) 単語テスト 10%(10 点満点、3 回) 授業への取り組み方(授業への参加状況、授業態度など) 10%、定期試験 60%で、総合的に評価します。				
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ / 学習・教育目標						
備考(準備学習等)						